学校番号	402

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校社会と情報 （実教出版）						
副教材等	ミニマニュアルシリーズ　プログラミング入門　ExcelVBA 編（数研出版） 基礎からはじめる情報リテラシー（実教出版） 社会と情報　学習ノート（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年時に引き続き、まずは必須の情報関連の基本事項の理解や徹底習得を目指します。
そして、後半は主に応用的な実習をしながら、情報社会の一員としての責任を常に自覚しつつ、様々な知識や技能を場面や状況に応じて適切に発揮、活用できるようになることを目指しています。

２　学習の到達目標

情報のディジタル化や情報安全について理解させ、コンピュータなどを効果的に活用する能力を養うとともに、情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解させ、情報社会に参加する上での望ましい態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする態度。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現する力。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 学習ノートの記述 実習作品 レポート 発表 相互評価　等	学習状況の観察 学習ノートの記述 実習作品 レポート 発表 相互評価　等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テスト　等	学習状況の観察 学習ノートの記述 定期考査　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	表計算ソフト実習	○パソコンの応用的操作 ○記号入力練習 ○Excel ： 表計算ソフト実習	○ ○	○ ○	 ○ ○	 ○	a: コンピュータの仕組みに興味を持ち、学習に取り組もうとしている。 b: 表計算ソフト実習に積極的に取り組もうとしている。 c: 正しい指使いで、早く正確にタイピングできる。 d: 表計算ソフトを使用するメリット、デメリット、特徴　等をきちんと理解しながら活用できている。	授業観察 実技テスト レポート 課題制作
	情報安全	○個人による安全対策 ○組織による安全対策 ○安全のための情報技術 ○暗号化 ○暗号化の仕組み ○法規による安全対策 ○知的財産権の概要と産業財産権 ○著作権 ○著作物の利用	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 安全対策や知的財産権に関心を持とうとしている。 b: 安全対策や知的財産権の諸問題について考えている。 c: 安全対策や知的財産権の諸問題で、適切な対応や活用ができる。 d: 下記の①～③についての知識や理解 ①情報セキュリティ ②暗号化 ③法規による安全対策	授業観察 学習ノート 定期考査 レポート

		学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	画像処理・ビデオ編集ソフト実習・応用実習	○パソコンの応用的操作	○	○			a: コンピュータの仕組みに興味を持ち、学習に取り組もうとしている。 b: 適切なソフトを使用して、作品の制作に積極的に取り組もうとしている。 c: 正しい指使いで、早く正確にタイピングしたり、基本的な技術を習得し、早く的確に作品の作成ができる。 d: それぞれのソフトを使用するメリット、デメリット、特徴 等をきちんと理解しながら活用できている。	授業観察 実技テスト 課題制作
		○総合タイピング練習			○			
		○プログラミング入門実習	○	○	○	○		
		○ビデオ編集ソフト実習	○	○	○	○		
		○画像処理ソフト実習	○	○		○		
		○応用実習	○	○	○	○		
	ディジタル化	○ディジタル情報の特徴	○	○	○	○	a:ディジタル化に関心を持とうとしている。 b: ディジタル化の諸問題について考えている。 c: さまざまな計算ができる。 d: ディジタル化のメリット・デメリットを理解しつつ活用できる。	授業観察 学習ノート 定期考査 レポート
		○静止画像の扱い	○	○		○		
		○数値や文字の表し方	○	○	○	○		
		○音のディジタル化	○	○	○	○		
		○色のディジタル化	○	○	○	○		
		○画像のディジタル化	○	○	○	○		
		○圧縮の種類	○	○		○		
		○圧縮の仕組み	○	○	○	○		
		○さまざまな計算	○	○	○	○		

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。